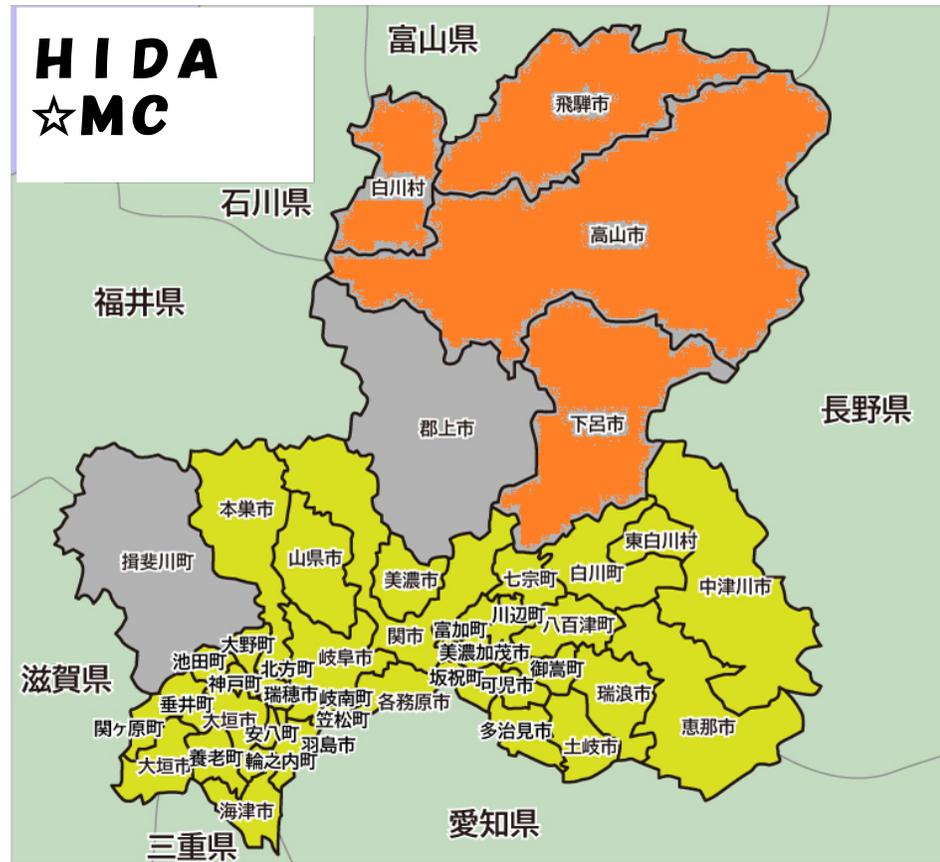


“細く長く”

『飛騨地域MC協議会PCEC部会 による意識障害教育』

飛騨地域MC協議会PCEC部会
部会員
高山市消防本部 野村 一樹



●●● 飛騨地域
※3消防本部(3市1村)

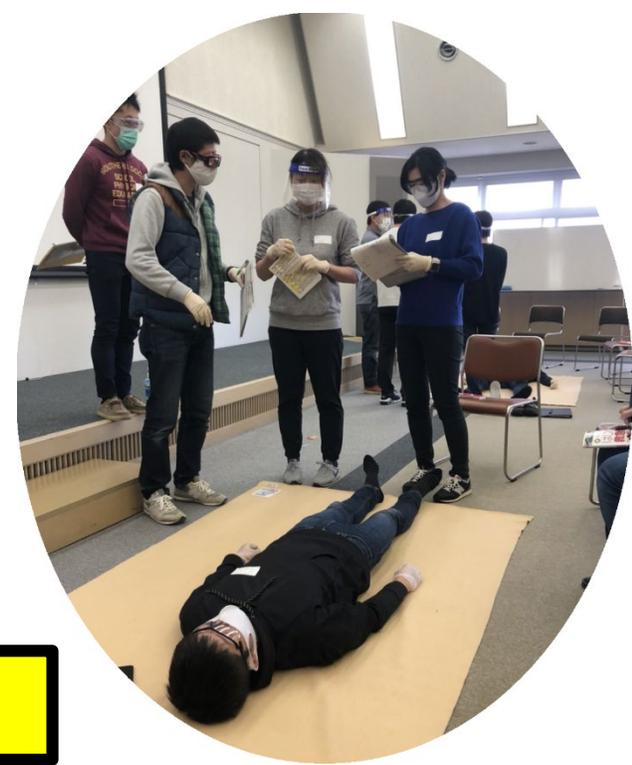
“組織的取組”

飛騨地域MC協議会

事後検証部会

感染防止部会

PCEC部会



〈構成〉

- ・医師会
- ・岐阜県MC医師
- ・保健所
- ・各救急病院
- ・各消防本部

〈医療圏の概要〉

- ・地域救急病院5施設 3次救急1施設 2次救急4施設
- ・地域消防本部3施設
下呂市消防本部 飛騨市消防本部 高山市消防本部
- 合計救急隊員数 271名

PCEC部会

目的

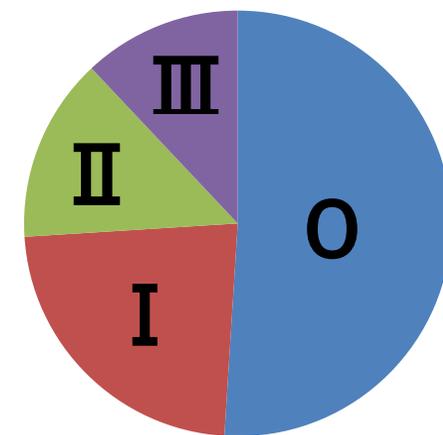
- ・救急隊が意識障害など内因性の傷病者に対し適切な活動ができること
- ・内因性傷病者の観察と処置の標準的な手法の教育とその普及

構成

部会長 高山赤十字病院内科医師 今井 奨
部会員 下呂市消防本部 長尾 昌俊 飛騨市消防本部 白川 大輔
高山市消防本部 野村 一樹
庶務 高山市消防本部 青木 良輔

事業

- ・PCECコース(基礎・応用) 2回/年 実績 8回(1回の中止含む) 226名
- ・各本部内救急隊員教育
- ・部会 2回/年
- ・PEMECコース、リモート症例検討会etc...



各本部救急隊員教育

中期計画(3ヶ年)～段階的教育～

ポイント ・3年かけてじっくりと ・足並みを揃える

※高山市消防本部意識
障害教育検討グルー
プにてH27～H29年
度に行った教育内容を
基盤として地域へ発展

1
年
目

- ◎意識障害教育を展開し初期評価の充実
- 意識レベル・意識障害傷病者対応の概念

2
年
目

- ◎評価・観察方法の取得
- 初期評価、内因性L&Gの再確認・効率的な問診
・全身観察の理解と方法の取得

3
年
目

- ◎想定訓練(原因推測・病院連絡)
- ワイドトリアージの概念取得・観察結果に基づく原因検索・適切な
病院連絡の為の観察、評価の向上

質の担保1

- ・PCECガイドブックを参考に
- ・PCEC標準教育コース内容及びその振り返り

1. 高山市消防本部で3年間行った教育内容を基盤として地域へ発展

2. 継続的なコース開催とバージョンUp

- ・コース計8回開催 参加者計226名
- ・基礎コース及び応用コース

3. 地域内で開催された下記の研修を取り入れている

- ・PSLS・POT・PEMEC・外部講師etc...



質の担保2

救急医療に精通した医師のバックアップ

○PCEC部会長
飛騨地域の救急
医療に精通した
医師に依頼

○飛騨地域MC
協議会
救急医・脳外科医・
外科医

○岐阜県MC協議会
岐阜県救急医療
研究会
脳卒中部会



工夫

○地域で作り上げた

- ・地域内の共通認識の定着
- ・各本部内での教育



○コース継続開催

- ・教育機会の提供
- ・指導力のキープ&レベルアップ



○振り返り

- ・救急隊員への教育に対するアンケート
- ・意識障害原因推測シートの導入

成果・展望



成果

- ・地域での統一した教育
- ・組織的取組による底上
- ・日常的な教育の定着
- ・県への教育の発展

展望

- ・内因性全般に関する各症候別の対応教育への発展
- ・医師を交えた少人数のリモート症例検討会開催
- ・重症度・緊急度判定の精度向上
- ・地域医療の有効活用

